



ひらかわ

市議会だより

平成27年
9月定例会

第40号

平成27年12月15日発行



目次

◆平成27年第3回（9月）定例会（概要）	2
（審議した議案）	3～5
◆決算特別委員会（平成26年度決算審査）	6～9
◆議決一覧表	10～11
◆市政に関する一般質問より（10議員）	12～17
◆議員表彰	18
◆議員全員協議会開催	19
◆第2回臨時会	20
◆所管事務調査報告（教育民生常任委員会）	21
◆議会の動き・編集室から	22

健康センター前のイルミネーション

ふるさと創生の予算を活用し、市制施行10周年記念事業として、平賀駅前、市役所周辺でイルミネーションが灯されました。

発行：青森県平川市議会 編集：平川市議会広報特別委員会

〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山25番地6 TEL(0172)44-1111 FAX(0172)44-6988
平川市ホームページ：http://www.city.hirakawa.lg.jp/ メールアドレス：gikai@city.hirakawa.lg.jp

第3回（9月）定例会 決算特別委員会 設置

平成27年第3回平川市議会定例会は、9月4日から18日までの15日間を会期として開催されました。本定例会では、平成26年度一般会計などの決算（24件）を審査するために議員全員で構成する決算特別委員会が設置され、委員長に田中友彦議員、副委員長に葛西清仁議員が選任されました。

本定例会に提出されました議案は、人事案件1件、条例案1件、条例改正案3件、補正予算案9件、規約の変更2件、一部変更協定の締結について1件、総合整備計画の変更について1件、総合整備計画の策定について1件、財産の無償譲渡について1件、報告3件、請願2件、議員提出議案1件、議員の派遣について1件の合計27件が上程されました。

これらを慎重に審議した結果、議案第86号、第87号、第88号は起立採決の結果、原案可決となり、請願第5号、請願第6号は起立採決の結果、不採択となりました。その他の議案については、すべて原案同意または原案可決となりました。



【会期日程】

- 9月4日(金) 本会議
- 9月5日(土) (休会)
- 9月6日(日) (休会)
- 9月7日(月) (議案熟考のため休会)
- 9月8日(火) 常任委員会
- 9月9日(水) 本会議(一般質問1日目)
- 9月10日(木) 本会議(一般質問2日目)
- 9月11日(金) (議事整理のため休会)
- 9月12日(土) (休会)
- 9月13日(日) (休会)
- 9月14日(月) 決算特別委員会
- 9月15日(火) 決算特別委員会
- 9月16日(水) 決算特別委員会
- 9月17日(木) (議事整理のため休会)
- 9月18日(金) 本会議(最終日)



審議した議案

人事案件

●人権擁護委員に

いまい いわお
今井 巖 氏を同意

人権擁護委員今井 巖氏の任期が、平成27年12月31日をもって満了するので、再任について意見を求め推薦するため。

条例案・条例改正案

●平川市個人情報保護条例の一部を改正する条例案

（平成27年10月5日から施行する。ただし、情報提供等記録に関する部分の規定については、番号法附則第1条第5号に掲げる規定の施行の日から施行する）

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、市が保有する特定個人情報の適正な取扱い並びに開示、訂正、利用の停止、消去及び提供の停止の手続きを定め、並びにその他所要の改正を行うため。

質 疑

問 情報漏えいの危険性について。

答 国や地方公共団体とは専用のネットワークでつながる予定であり、一般のインターネット回線等とは切り離すため、情報漏えいすることはない。

●平川市税条例等の一部を改正する条例案

（平成28年1月1日から施行）

地方税法等の一部改正に伴い、個人市民税の所得割の課税標準について、所得税における出国時の譲渡所得課税の特例を適用しないこととし、市たばこ税の特例税率为段階的に廃止し、及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、個人番号、法人番号に関する規定を定め、並びにその他所要の改正を行うため。

●平川市手数料条例の一部を改正する条例案

（平成27年10月5日から施行する。ただし、第2条の規定は、平成28年1月1日から施行する）

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、通知カード及び個人番号カードの再交付手数料を定めるため。

質 疑

問 通知カードと個人番号カードの内容は。

答 通知カードは番号法により国民一人ひとりに付された個人番号をお知らせするカードであり、個人番号カードは申請により交付され、個人番号に加え顔写真が入るため、身分証明書として使用可能なカードである。初回は無料で交付され、今回の条例改正はこれらのカードの再交付手数料を定めたものである。

●平川市いきいき健康長寿のまちづくり条例案

（平成27年10月25日から施行）

市民の健康づくりに関し基本的な事項を定めることにより、市民が生涯にわたり健やかでいきいきと暮らすことができる健康長寿のまちを実現するため。

質 疑

問 健康教養レベルを高めるために市が行っている取り組みについて。

答 健康なひとづくり事業として、健康づくりに必要な知識の習得と自主的な健康づくりができるような事業の実施、そのほか健康教育の事業、早期からの健康教育として小学校において健康教育モデル事業を実施している。

●津軽広域連合規約の一部変更について

（平成28年4月1日から施行）

津軽広域連合の処理する事務に、し尿等希釈投入施設の設置及び管理運営に関する事務を加えるため、地方自治法第291条の11の規定により議会の議決を必要とするため。

●弘前地区環境整備事務組合の共同処理する事務の変更及び弘前地区環境整備事務組合規約の変更について

（平成28年4月1日から施行）

弘前地区環境整備事務組合のし尿処理施設の設置及び管理の事務を廃止するため、弘前地区環境整備事務組合の共同処理する事務及び規約を変更することについて、地方自治法第286条第1項及び第290条の規定により議会の議決を必要とするため。

●定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について

弘前市との間における弘前圏域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について、平川市議会の議決すべき事件を定める条例第2条の規定及び弘前圏域定住自立圏の形成に関する協定書第5条の規定により、議会の議決を必要とするため。

●久吉辺地総合整備計画の変更について

久吉辺地総合整備計画を変更するにあたり、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条第1項の規定により議会の議決を必要とするため。

質 疑

問 事業費の増額と財源について。

答 深沢橋を調査した結果、橋の表面処理の補修が必要となったため、事業費が916万円増額、特定財源追加と辺地対策事業債の内容が変更になった。

●東部辺地総合整備計画の策定について

東部辺地総合整備計画を新たに策定するにあたり、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条第1項の規定により議会の議決を必要とするため。

そ の 他

●財産区有財産の無償譲渡について

沖館財産区有の土地を農道用地として平川市へ無償譲渡するため。

補 正 予 算

●平成27年度平川市一般会計補正予算案（第3号）

予算の総額から歳入歳出それぞれ2億6,406万8,000円を減額し、総額を187億7,170万円とする。

質 疑

問 新庁舎オフィス環境整備業務委託料について。

答 新庁舎建設に向けて、快適で機能的なオフィス環境を整備し、市民サービスと事務効率の向上につなげることを目的とした調査業務である。

●平成27年度平川市国民健康保険特別会計補正予算案（第1号）

予算の総額に歳入歳出それぞれ1,266万3,000円を追加し、総額を47億1,005万5,000円とする。

●平成27年度平川市介護保険特別会計補正予算案（第2号）

予算の総額に歳入歳出それぞれ4,197万6,000円を追加し、総額を38億6,760万9,000円とする。

質 疑

問 第1号被保険者保険料の特別徴収分が減額となったことから、階層別の人数等について。

答 今回の減額分は所得階層9段階あるうちの一番低い所得階層の保険料の分であり、人数は2,208人分、年額で3,801円である。

●平成27年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算案（第2号）

予算の総額に歳入歳出それぞれ1,165万5,000円を追加し、総額を3億3,327万7,000円とする。

●平成27年度平川市学校給食センター特別会計補正予算案（第1号）

予算の総額に歳入歳出それぞれ803万8,000円を追加し、総額を3億2,636万1,000円とする。

●平成27年度平川市簡易水道特別会計補正予算案（第2号）

予算の総額から歳入歳出それぞれ27万円を減額し、総額を2,091万9,000円とする。

質 疑

問 予算減額の理由は。

答 工事費の減額によるものである。

●平成27年度平川市水道事業会計補正予算案（第1号）

収益的収入及び支出のうち支出について、人事異動等に伴う人件費の調整分として230万3,000円を減額するため。

質 疑

問 人件費が減額になった理由は。

答 職員数に変更はないが、人件費調整分が減額となったためである。

●平成27年度平川市下水道事業会計補正予算案（第1号）

収益的収入及び支出のうち支出について、公共下水道事業費用及び特定環境保全公共下水道事業費用の人事異動等に伴う人件費の調整分として265万9,000円を減額し、資本的収入及び支出のうち公共下水道事業の建設改良費302万1,000円を増額するため。

●平成27年度平川市吹上・高畑財産区一般会計補正予算案（第1号）

予算の総額に歳入歳出それぞれ6万2,000円を追加し、総額を7万1,000円とする。

議員提出議案

●平川市議会会議規則の一部を改正する規則案

近年の男女共同参画の状況にかんがみ、本市議会においても男女共同参画を考慮した議会活動を促進するため、出産による会議及び委員会の欠席に関する規定について、所要の改正をするものである。

請

願

●TPP日米協議の合意内容を明らかにし、国会決議に違反する合意の撤回を求める請願

趣旨：TPP交渉の日米2国間協議は大きく進展し、日本側の譲歩が報道されているが、いずれも国会決議に違反していることは明白である。よって、重大な譲歩提案を公表し、ただちに合意を撤回、TPP交渉から撤退することを求める。

●米価暴落対策の意見書を求める請願

趣旨：米価の暴落や交付金の減額・廃止は稲作農家に経営困難をもたらし、さらにTPP交渉において米国产米・豪州産米の特別輸入枠が合意されるとの報道もあることから、米の需給対策を放棄する方針を撤回し、政府による米価対策を確立することを求める。

報

告

●平成26年度平川市健全化判断比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定に基づき、平成26年度決算により、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率の4指標の総称である健全化判断比率が財政的に健全である旨を報告する。

●平成26年度平川市資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定に基づき、水道事業会計、下水道事業会計及び簡易水道特別会計について資金不足はなく、健全である旨を報告する。

●平成26年度平川市一般会計継続費精算報告書について

地方自治法施行令第145条第2項の規定に基づき、平成25年度から平成26年度まで防災無線施設整備事業の継続費を設定し、デジタル防災行政無線を主とした防災情報システムの整備事業が終了したため、継続費精算報告書を調製したことを報告する。

決算特別委員会

平成26年度一般会計予算

歳出総額176億4千万円

決算特別委員会は議員20名全員を委員とし、9月4日に、委員長に田中友彦委員、副委員長に葛西清仁委員が指名推選により選任されました。

9月14日・15日・16日の3日間、一般会計を含む特別会計及び企業会計の平成26年度決算認定について審査しました。

各委員から活発な質疑が行われた結果、一般会計、国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計は起立採決により賛成多数で原案認定、その他会計決算は全会一致で認定されました。（※質疑内容は要約し、また、討論は本会議より抜粋して掲載しています。）



田中友彦 委員長



葛西清仁 副委員長

一般会計

歳入全般

問 死亡、後継者がいないなどの放棄された空き家についての対策は。

答 近隣に影響を及ぼす恐れのある空き家等については、市が裁判所にその管理人の決定をお願いしている。

問 生活保護受給者就労支援事業について、市の取り組みは。

答 支援員にハローワーク経験者を採用し、面接の仕方や職業選別、就職状況の把握などの支援をしており、実際に就労した方は7人で生活保護から抜けた世帯は6世帯である。

歳出全般

総務費

問 地域で助け合う雪対策モデル事業委託料の詳細について。

答 当事業は2カ年のモデル事業であり、26年度は助成金として活動準備経費、ボランティア活動保険料及び排雪活動費を各町会に委託料として支払い、7町会で実施した。

民生費

問 認定子ども園の認定数は。

答 認定子ども園に移行した所は4箇所、そのまま保育園として運営した所は9箇所である。

農林水産業費

問 経営体育成支援事業の実績は。

答 この事業は平成22年度から実施され、使用された経営体数は256件、補助金総額は2億2,233万6,000円である。

商工費

問 尾上商店街活性化事業補助金20万円の対象は。

答 尾上中心商店街の33店舗で構成している団体が実施する大売出し抽選会やそうめん流し等のイベントの費用を補助するものである。

消 防 費

問 防災無線にタイムラグがあり、聞き取りにくいことについて。

答 同時刻にアナウンスをするとハウリングが起こるため、地区によってアナウンスを少しずらしている。

教 育 費

問 奨学金貸付の状況は。

答 高校生12名、短大高専5名、大学及び大学院に通われている方30名である。

反対討論あり

平成26年度決算は、社会保障・税一体改革に基づく消費税増税と本格的社会保障改悪が反映されている。マイナンバー制度等、国の政策にかかわるものが数多く入っていること、また、総合運動施設修正設計委託料のやり方や説明が到底納得いくものではないため、反対する。

賛成討論あり

福祉関係の扶助費に支出をするも、一方で防災無線施設整備事業などの市民生活の環境整備を促進、地域経済の活性化に寄与しているものと高く評価できる。また、常に財政規律を意識した取り組みとして、1億9,500万円の繰り上げ償還を実施したほか、随所に財政健全化に向けた取り組みが実現できているため、賛成する。

特別会計

国民健康保険特別会計

問 国保会計財政調整基金の状況は。

答 現在の基金残高は、26年度末の基金残高に剰余金等を合わせると2億4,244万1,094円となっている。

反対討論あり

国民健康保険税条例の一部を改正して所得割額・均等割額の引き上げを行い、均等割額変更に伴う軽減額も変更されたが、さまざまな問題も抱えている。滞納世帯数が減らない、短期被保険者証の発行、資格証明書の発行が絶えない現状から、国保税は被保険者の担税能力をはるかに超えるものとなっていることは明らかであるため、反対する。

賛成討論あり

財政調整基金の残高見込みが厳しく保険税を4.6%増税したが、歳出では、保険給付費は対前年比4.9%の減となった結果、国保会計の単年度収支は4年ぶりの黒字決算となっており、その経営努力が認められるため、賛成する。

介護保険特別会計

反対討論あり

平成26年度の決算は、第6期介護保険事業計画に向けた国の大改悪の介護外しの受皿づくりとなる内容が組み込まれており、公債費の財政安定化基金の償還を繰り返す介護保険特別会計は、自治体の運営努力では解決できない制度疲労をきたしていると言わざるを得ないため、反対する。

賛成討論あり

平成26年度の決算は健全な財政運営のための努力が認められる。また、第5期介護保険事業計画では、おおむね保険給付額は計画額の範囲に収まっており、市の施策が少しずつ成果を上げていることから、本会計の決算認定は適正な予算執行が行われたものと評価し、賛成する。

学校給食センター特別会計

問 修繕料 480 万 6,956 円の中身は。

答 主なものとして真空冷却器ボイラーの修理に 118 万 8,000 円、エアコン室外機の修理に 88 万 8,840 円、炊飯釜の再テフロン加工に 49 万 7,340 円、食器整理装置の修理に 39 万 6,090 円など、設備の修理に使っている。

問 平賀学校給食センターの正職員、臨時職員の人数は。

答 正職員が 3 人、臨時職員が 4 人、パートが 15 人である。

尾上地区住宅団地温泉事業特別会計

問 猿賀南田温泉及びみなみの温泉管理費委託料について、前年度より 23.7%減となっているが、その見直しの内容は。

答 猿賀南田温泉は不純物が付きにくい性質のため、毎年行っていたポンプ設備点検を 2 年に一度としたため。

水道事業会計

問 人口減少による水量の見直しについて。

答 実際に使用している水量が計画水量より下回っていることは以前から指摘がある。今後 30 年間の水需要予測を策定し、専門コンサルタントと水需要を勘案したうえでこれから決定していく。

下水道事業会計

問 有収率が 3.6%減少した理由は。

答 水害や雪解け等の不明水が出ているため。

問 農業集落排水事業について。老朽化している処理施設や、その他問題等はあるか。

答 当事業は 7 地区で行っており、平成 29 年度からこれらの施設の詳細診断を計画している。その結果から今後の対応を考える計画を進めている。

平成26年度 各会計の決算状況

会計名		収入額	支出額	
一般会計		180 億 3,217 万 5,446 円	176 億 3,936 万 379 円	
特別会計	国民健康保険	41 億 5,070 万 8,214 円	41 億 892 万 7,663 円	
	介護保険	36 億 9,311 万 3,197 円	36 億 1,647 万 9,312 円	
	後期高齢者医療	2 億 4,795 万 6,310 円	2 億 4,731 万 6,110 円	
	診療所	2 億 7,546 万 5,263 円	2 億 7,546 万 5,263 円	
	学校給食センター	3 億 3,402 万 8,182 円	3 億 3,402 万 8,182 円	
	尾上地区住宅団地温泉事業	1,112 万 3,623 円	899 万 4,068 円	
	簡易水道	1,633 万 9,704 円	1,633 万 9,704 円	
計		267 億 6,090 万 9,939 円	262 億 4,691 万 681 円	
企業会計	水道事業	収益的	5 億 7,185 万 2,705 円	4 億 6,017 万 599 円
		資本的	2,200 万 9,000 円	1 億 6,949 万 8,299 円
	下水道事業	収益的	11 億 3,052 万 2,549 円	11 億 6,750 万 6,314 円
		資本的	5 億 3,783 万 6,000 円	7 億 1,164 万 7,085 円

平成26年度 一般会計の決算状況

【歳入】

(単位：円)

	割合 (%)	予算現額	調定額	収入済額	収入割合 (%)				
					予算対	調定対	歳入計対		
自主財源	20.5	2,347,878,924	2,336,835,000	2,525,961,816	2,347,878,924	100.5	92.9	13.0	
市 税		1,348,196,451	124,363,000	120,501,793	117,049,273	94.1	97.1	0.6	
分担金及び負担金			106,226,000	114,041,844	112,546,746	106	98.7	0.6	
使用料及び手数料			215,691,000	224,800,680	224,667,680	104.2	99.9	1.2	
財産収入			24,000	3,355,612	3,355,612	13981.7	100	0	
寄附金			100,586,000	100,586,200	100,586,200	100	100	0.6	
繰入金			258,811,000	258,811,740	258,811,740	100	100	1.4	
繰越金			511,686,000	567,987,595	531,179,200	103.8	93.5	2.9	
諸収入	211,148,000		211,148,000	211,148,000	100	100	1.2		
依存財源	79.5	643,599,892	643,599,892	643,599,892	643,599,892	100	100	0	
地方譲与税		643,599,892	4,174,000	4,174,000	4,174,000	4,174,000	100	100	0
利子割交付金			9,466,000	9,466,000	9,466,000	9,466,000	100	100	0.1
配当割交付金			3,941,000	3,941,000	3,941,000	3,941,000	100	100	0
株式等譲渡所得割交付金			358,088,000	358,088,000	358,088,000	358,088,000	100	100	2.0
地方消費税交付金			13,951,000	13,951,892	13,951,892	13,951,892	100	100	0.1
ゴルフ場利用税交付金			27,292,000	27,292,000	27,292,000	27,292,000	100	100	0.2
自動車取得税交付金			11,886,000	11,886,000	11,886,000	11,886,000	100	100	0.1
地方特例交付金			3,653,000	3,653,000	3,653,000	3,653,000	100	100	0
交通安全対策特別交付金			8,316,219,000	8,316,219,000	8,316,219,000	8,316,219,000	100	100	46.1
地方交付税			3,664,173,179	2,652,721,000	2,357,620,385	2,357,620,385	88.9	100	13.1
国庫支出金			1,374,521,000	1,306,552,794	1,306,552,794	1,306,552,794	95.1	100	7.2
県支出金	1,712,108,000		1,925,208,000	1,712,108,000	1,712,108,000	88.9	100	9.5	
市 債	18,032,175,446	18,566,490,000	18,252,147,351	18,032,175,446	97.1	98.8	100		
歳入合計									

【歳出】

(単位：円)

科 目	予算現額	支出済額	繰越額	執行割合 (%)	
				予算対	歳出計対
議会費	155,093,000	154,549,179	0	99.6	0.9
総務費	2,205,918,000	2,132,896,144	38,574,000	96.7	12.1
民生費	5,746,807,000	5,523,668,400	173,088,000	96.1	31.3
衛生費	1,065,972,000	1,025,512,993	0	96.2	5.8
労働費	152,000	72,614	0	47.8	0
農林水産費	718,718,000	707,724,667	2,400,000	98.5	4.0
商工費	558,820,000	463,284,271	85,710,000	82.9	2.6
土木費	2,208,146,000	1,937,695,633	255,500,000	87.8	11.0
消防費	974,948,000	972,501,337	0	99.7	5.5
教育費	1,541,569,000	1,423,149,978	80,090,000	92.3	8.1
災害復旧費	690,601,000	630,003,066	35,000,000	91.2	3.6
公債費	2,668,358,000	2,668,302,097	0	100	15.1
予備費	31,388,000	0	0	0	0
歳出合計	18,566,490,000	17,639,360,379	670,362,000	95	100

※構成比は、四捨五入のため積算が一致しない場合がある。

平成27年
(9月議会)

第3回 定例会議決一覧表

議案 番号	議案名	本会議		常任委員会等		
		結果	備考	付託先	結果	備考
【人事案件】						
85	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意		付託省略		
【条例案・条例改正案】						
86	平川市個人情報保護条例の一部を改正する条例案	原案可決	起立採決	総務企画	原案可決	
87	平川市税条例等の一部を改正する条例案	原案可決	起立採決	総務企画	原案可決	
88	平川市手数料条例の一部を改正する条例案	原案可決	起立採決	教育民生	原案可決	挙手採決
89	平川市いきいき健康長寿のまちづくり条例案	原案可決		教育民生	原案可決	
【補正予算案】						
96	平成27年度平川市一般会計補正予算案（第3号）	原案可決		総務企画	原案可決	
97	平成27年度平川市国民健康保険特別会計補正予算案（第1号）	原案可決		教育民生	原案可決	
98	平成27年度平川市介護保険特別会計補正予算案（第2号）	原案可決		教育民生	原案可決	
99	平成27年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算案（第2号）	原案可決		教育民生	原案可決	
100	平成27年度平川市学校給食センター特別会計補正予算案（第1号）	原案可決		教育民生	原案可決	
101	平成27年度平川市簡易水道特別会計補正予算案（第2号）	原案可決		建設経済	原案可決	
102	平成27年度平川市水道事業会計補正予算案（第1号）	原案可決		建設経済	原案可決	
103	平成27年度平川市下水道事業会計補正予算案（第1号）	原案可決		建設経済	原案可決	
104	平成27年度平川市吹上・高畑財産区一般会計補正予算案（第1号）	原案可決		総務企画	原案可決	
【その他】						
90	津軽広域連合規約の一部変更について	原案可決		総務企画	原案可決	
91	弘前地区環境整備事務組合の共同処理する事務の変更及び弘前地区環境整備事務組合規約の変更について	原案可決		教育民生	原案可決	
92	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について	原案可決		総務企画	原案可決	
93	久吉辺地総合整備計画の変更について	原案可決		総務企画	原案可決	
94	東部辺地総合整備計画の策定について	原案可決		総務企画	原案可決	
95	財産区有財産の無償譲渡について	原案可決		総務企画	原案可決	
【歳入歳出決算】						
105	平成26年度平川市一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	起立採決	決算特別	原案認定	起立採決
106	平成26年度平川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	起立採決	決算特別	原案認定	起立採決
107	平成26年度平川市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	起立採決	決算特別	原案認定	起立採決
108	平成26年度平川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
109	平成26年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
110	平成26年度平川市学校給食センター特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
111	平成26年度平川市尾上地区住宅団地温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
112	平成26年度平川市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
113	平成26年度平川市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算認定について	原案可決及び認定		決算特別	原案可決及び認定	

議案番号	議案名	本会議		常任委員会等		
		結果	備考	付託先	結果	備考
114	平成26年度平川市下水道事業会計決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
115	平成26年度平川市広船財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
116	平成26年度平川市小和森財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
117	平成26年度平川市大坊財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
118	平成26年度平川市石郷財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
119	平成26年度平川市柏木町財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
120	平成26年度平川市大字大光寺財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
121	平成26年度平川市平田森財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
122	平成26年度平川市新館財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
123	平成26年度平川市沖館財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
124	平成26年度平川市葛川財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
125	平成26年度平川市吹上・高畑財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
126	平成26年度平川市原田財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
127	平成26年度平川市岩館財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
128	平成26年度平川市碓ヶ関財産区一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定		決算特別	原案認定	
【報告】						
10	平成26年度平川市健全化判断比率について					
11	平成26年度平川市資金不足比率について					
12	平成26年度平川市一般会計継続費精算報告書について					
【請願】						
5	T P P日米協議の合意内容を明らかにし、国会決議に違反する合意の撤回を求める請願	不採択	起立採決	建設経済	不採択	挙手採決
6	米価暴落対策の意見書を求める請願	不採択	起立採決	建設経済	不採択	挙手採決
【議員派遣】						
1	議員の派遣について	原案可決		付託省略		
【議員提出議案】						
5	平川市議会会議規則の一部を改正する規則案	原案可決		付託省略		

平成27年
(10月開催)

第2回 臨時会議決一覧表

議案番号	議案名	本会議		常任委員会等		
		結果	備考	付託先	結果	備考
【その他】						
129	工事請負契約の一部変更について	原案可決	起立採決	付託省略		
130	工事請負契約の一部変更について	原案可決	起立採決	付託省略		
【報告】						
13	専決処分した事項の報告について					
	・専決第11号 損害賠償額の決定及び和解の件について					
	・専決第12号 損害賠償額の決定について					

市政に関する一般質問より

一般質問は、議員が行政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について質問します。ここでは内容を要約して掲載しております。



平成27年第3回(9月)定例会 一般質問傍聴席

※9月定例会では37名の方が傍聴されました。

1. 原田 淳 議員 (一問一答方式)

1. 地方創生について
2. 仕事をし、子育てをしているお母さん(女性)にやさしい環境づくりについて

2. 山口 金光 議員 (一括質問方式)

1. 合併して良かったと市民が思える行政が胸を張って誇れる実績・成果について
2. 合併10年間の市政を財政面から大略俯瞰することについて
3. 長期人口減少問題対策の現状について

3. 工藤 竹雄 議員 (一括質問方式)

1. 人口ビジョンと総合戦略の策定における具体的な施策について
2. 教育行政について

4. 長内 秀樹 議員 (一括質問方式)

1. 平川市農業イノベーション戦略について
2. マイナンバー(社会保障・税番号制度)について

5. 佐藤 寛 議員 (一問一答方式)

1. 道路の安全対策について

6. 山田 忠利 議員 (一括質問方式)

1. 平川市の観光振興について
2. まちづくり懇談会について

7. 大川 登 議員 (一括質問方式)

1. ねぶたの運行について
2. 市制10周年記念イベントについて

8. 齋藤 律子 議員 (一括質問方式)

1. 第2期平賀総合運動施設整備事業について
2. 平川市食育推進計画について
3. 学校給食センターについて

9. 葛西 清仁 議員 (一括質問方式)

1. ゴミの収集場所への出し方について
2. 平賀駅前地区のかん水について

10. 石田 昭弘 議員 (一問一答方式)

1. 気象災害「豪雨対策」について
2. 福祉除雪について
3. 道路の除排雪について
4. 空き家対策について



原田 淳 議員



1. 地方創生について

- 問** ① 平川市独自の地方版総合戦略の策定状況と内容は。
 ② 弘前圏域定住自立圏での雇用確保に対する市長の考えは。
 ③ 県外からの移住、定住の推進について。

- 答** ① 平川市まち・ひと・しごと創生本部を設置し、審議を行っている。また、平川市人口ビジョンの素案が完成し議論しており、平川市総合戦略も今月中に素案が完成する見込みである。
 ② 現在、県に対し、圏域内に立地を希望する企業の意向調査、産業用地整備の可能性調査の検討を要望している。
 ③ 現在、平川市のPRにプロモーションビデオの制作を行っている。また、市内の空き家の利活用方法や問題点を調査、研究したい。

2. 仕事をし、子育てをしているお母さん（女性）にやさしい環境づくりについて

- 問** ① 産休、育児休業が取得しやすい環境づくりについて。
 ② 産休、育児休業期間における育児休業給付金の助成について。
 ③ 子どもが3歳になるまでの短時間勤務制度の取得について。
 ④ 育児勤務1時間短縮による給料減額に対する助成について。

- 答** ① 市企業連絡協議会等を通じて、国における職業生活と家庭生活の両立支援制度の活用を積極的に呼びかけていきたい。
 ② 給付金は自営業などは受けられず、すべての子育て世帯を対象にするため、第2子からの保育料無料化や医療費の助成等を行っている。
 ③ ①と同様である。
 ④ ②と同様に支援が限定的なため、国・県に対する提案を検討していく。



山口 金光 議員

1. 合併して良かったと市民が思える行政が胸を張って誇れる実績・成果について

- 問** ① 市立中・高卒後の就職状況及び大学等進学状況の変化は。
 ② 町村時代に優る政策・事業の実績とその行政評価は。

- 答** ① 中卒者はほぼ高校に進学、就学による県外への転出者は35名程度で、ここ10年間推移している。また、高卒者の進路については把握できていない。
 ② 主なものとして碓ヶ関地域の学校給食サービス事業、第3子保育料無料化などが合併後プラス要因となった取り組みである。

2. 合併10年間の市政を財政面から大略俯瞰することについて

- 問** ① まちづくり懇談会の意見を受け28年度以降に対する取り組み姿勢・決意について。
 ② 税収等に及ぼす影響が大きい商店街の問題に対する方策について。

- 答** ① 要望には現場確認等現状把握に努めており、今後の参考とさせていただいている。
 ② 大型店舗や通信販売など商店街の経営環境は非常に厳しい現状であり、今後、各商店街が自発的に行う取り組みについては、関係機関とともに支援していきたい。

3. 長期人口減少問題対策の現状について

- 問** 当市の人口増減要因に対しての対策は。

- 答** 市長就任以降、第2子以降保育料無料化や子育て応援定住交付金等の子育て環境の整備を進めてきた。今後もこれまでの経験と反省を教訓に邁進していきたい。



工藤 竹雄 議員



1. 人口ビジョンと総合戦略の策定における具体的な施策について

- 問 ① 少子化・子育て支援について。
 ② 移住定住促進支援について。
 ③ 婚活支援事業の実施期間と実績内容は。

- 答 ① 婚活事業など出会いの場の創出や出会いを演出する仕組み、結婚を望む方への情報提供等、関係機関と連携し浸透・拡大させていきたい。また、子育て住宅支援補助金事業は、市内だけでなく市外から転入予定の世帯も定住を要件に対象としているため、転入者数の増加にもつながっている。
- ② 雇用や住居、不慣れな環境等多くの問題点があるが、当市の情報を積極的に発信し、移住を促進するすべを模索していきたい。
- ③ カップリングパーティを5回実施し、26組のカップルが成立したほか、電車 de 合 CON も行われている。今後とも新たな企画等について検討したい。

2. 教育行政について

- 問 「平川市は教育のまち」宣言の考えについて。

- 答 元気なまちづくりを進める上で人づくりは重要な取り組みのひとつであり、今年度に未来の担い手育成事業を実施し、本市のまちづくりや仲間づくりの中核を担う若手人材の育成に取り組んでいるところである。



長内 秀樹 議員



1. 平川市農業イノベーション戦略について

- 問 ① 平川市で農畜産物を中心とした独自の輸出戦略の考えはあるか。
 ② 果樹の優良品目、品種の導入について。

- 答 ① 現在、県や日本貿易振興機構においても農林水産物・食品の輸出支援を行っており、当市においても今後、市の農畜産物の輸出促進についての施策を検討していく。
- ② 当市の果樹振興対策は、県をはじめ農協や生産者団体、りんご協会などの関係機関と連携して各種施策を展開しているところである。

2. マイナンバー（社会保障・税番号制度）について

- 問 ① 取り組み状況と今後のスケジュールについて。
 ② 市民への広報活動について。

- 答 ① 個人番号をその内容に含む個人情報の保護等についての規定を設けた平川市個人情報保護条例の改正案を議会に提出しており、ネットワークシステムは既存のものとは遮断された環境で構築している。また、既存の装置とは別に新規で装置を追加し、情報漏えいに対しても盤石な体制を整えている。
- ② 広報ひらかわ9月号にお知らせを掲載し、あわせてチラシを作成、各世帯に配布する予定である。また、ホームページも内容をより充実させ、周知を進めていく。



佐藤 寛 議員



該当の交差点

1. 道路の安全対策について

- 問** ① 小和森尾崎線交差点信号機設置について。
② 小和森尾崎線の防雪柵設置について。

- 答** ① 警察庁の指針に基づき交通量や交通事故の発生状況などを調査・分析して、県公安委員会が設置することになっている。
- ② 防雪柵にはその地形や条件に見合う型式の柵が求められる。当市の吹雪は西風の風向きが多いことから吹き払い柵を使用しており、下部空間を吹き抜ける風を利用して道路路面の雪を吹き払い視界障害を防いでいる。市道小和森尾崎線は東西を走る路線であり、当路線に対しての風向きを考えれば十分な効果を得られず、また延長も2.6キロあることから多額の事業費を要するため、防雪柵設置は難しいと判断している。

1. 平川市の観光振興について

- 問** ① 北限に観る蓮の花まつりと白岩まつりの再開について。
② イルミネーションプロムナードの費用と目的は。また、イベント観光PR用ねぶたの製作費用と活用目的は。

- 答** ① 猿賀公園の蓮の花はまだ3分の1程度しか回復しておらず、白岩森林公園は災害復旧工事が終了し、ハイキング等には支障はない現状である。関係機関と連携を図りながら祭り再開へ向けての協力をしていきたい。
- ② 冬季の誘客とコミュニティの広がりを期待して地域の活性化を図ることを目的とし、事業規模は1,551万8,000円である。可搬式ねぶたの事業規模は665万4,000円で、祭りの勢いと活気をそのまま県外へPRし、観光誘客へつなげる目的である。

2. まちづくり懇談会について

- 問** ① 乗り合いバス待合所を変更してはどうか。
② 碓ヶ関から平賀までの乗り合いバスの運行について。
③ 碓ヶ関地区の平川の雑草木の処理について。

- 答** ① 湯の沢地区より南側には集落がなく、補助金の目的である地域住民の交通の確保という観点から、路線延長は難しいものと考えている。
- ② ニーズ調査を実施し、結果を踏まえてバス実証運行の可否を決定したい。
- ③ 県に十六夜橋から三笠橋区間にある落差工周辺まで、兩岸の雑木伐採を約500メートル実施していただいた。引き続き、同区間の土砂浚渫や三笠橋からの上流についても要望していきたい。



山田 忠利 議員



大川 登 議員



本庁舎横に待機する
世界一の扇ねぶた

1. ねぶたの運行について

- 問** ① 現在の待機場所は順番がばらばらなため、待機場所を平賀ドームから町居に抜ける市道にし、一列に並べてはどうか。
② 運行経路の延長について。
③ 囃子の統一について。

- 答** ① 一列に並べるには、各町会から搬送する時間を指定する必要がある。ねぶた搬送はその時の交通状況も関係しているため、指定時間通りに搬送することはかなり厳しいが、平川ねぶたまつり実行委員会へ伝え、最善策について検討していきたい。
② 一昨年から検討中だが、実現が困難な状況である。
③ 各々の個性は大事であり、受け継がれてきた伝統文化を引継ぎ、良さを伸ばしていくことが地域振興につながっていくものと考ええる。

2. 市制10周年記念イベントについて

- 問** 平川市花火祭りの開催を切望することについて。

- 答** 今年の緑青園と黒石市で行われた花火大会は企業や個人からの協賛金や募金等で捻出しており、10周年記念イベントでは、出費がかさむなかで市民からの協賛金を集めることは大変厳しいものであるため、市での開催は慎重に対応すべきと考える。



齋藤 律子 議員



平賀体育館

1. 第2期平賀総合運動施設整備事業について

- 問** ① 陸上競技場の自動計測器の導入について。
② 新体育館建設後の現体育館の利活用について。

- 答** ① 開催される大会、利用頻度等を十分見極め、導入や維持管理の経費等の精査を行ったうえで判断したい。
② 新体育館が完成するまでに検討していきたい。

2. 平川市食育推進計画について

- 問** 学校給食における地元農産物の使用20%を達成するには安定供給が必要だが、どのような方法で目指すのか。

- 答** 需要側である学校給食センターと供給側である生産者の意見を確認しながらマッチングを進めていく必要がある、現在、農林課と学校給食センターで協議を進めている。

3. 学校給食センターについて

- 問** ① 平賀学校給食センターの増築について見直しをすべきである。
② 今後の学校給食センターのあり方について、それぞれの地域に密着した学校給食施設とするべきである。

- 答** ① 尾上学校給食センターの衛生上の問題や老朽化、平賀学校給食センターの現状調査及び増築の基本設計業務委託の結果を踏まえて今後のあり方を検討する。
② 現状調査等の結果やさまざまな要因を踏まえ、検討をしていきたい。



葛西 清仁 議員

1. ゴミの収集場所への出し方について

問 ルール違反者への対策や指導は。また、戸別収集を導入することについての考えは。

答 これまで排出者の特定までは行っていなかったが、今後の対応としては、排出者のごみを調査して特定した上で文書等によるごみ出しの指導などを行っていききたい。また、戸別収集においては経費や人員の増など費用対効果の面で問題もあり、現在のところ導入は考えていない。

2. 平賀駅前地区のかん水について

問 浸水対策について市長の考えは。

答 昨年から本地区冠水対策として、豪雨の際に現場での冠水状況確認・指示・報告に努め、関係機関で情報を共有している。今年度は平川市浸水対策基本調査として、駅前地区の現況雨水集水範囲、道路側溝の排水流末処理能力、最終放流先河川等を現在調査中であり、その結果をもとに調整池案も視野に入れながら最終的な整備計画を定め、実施していく所存である。



石田 昭弘 議員

1. 気象災害「豪雨対策」について

問 側溝・用水路の点検・管理等は定期的に行われているか。また、側溝の泥・堆積物除去の状況と、用水路のゴミ・異物の除去、水門調節はどのように行っているのか。

答 側溝は市、水路は各改良区が不定期ではあるが巡回し、点検を実施している。側溝の維持管理は従前から各町会へお願いしている。用水路・水門は各土地改良区または水利組合等が通常時、異常出水時ともに行っている。

2. 福祉除雪について

問 高齢者世帯・障がい者世帯の除雪の現状と対策は。

答 スノーバスターズの雪下ろし事業以外では、社会福祉協議会が主体となって道路除雪後の雪の塊や敷地内の除雪を各町会に依頼している小規模除排雪事業があり、昨年度は26町会で実施した。

3. 道路の除排雪について

問 国・県・市の連携による除雪、側溝・融雪溝蓋の危険な状態での開放についての対策は。

答 市では毎年秋に中南地域県民局で路線確認や緊急時対応などを協議、除雪計画書を作成し道路交通の確保に努めている。側溝・融雪溝蓋については、注意喚起チラシの配布、市ホームページ、広報、町会等の回覧で注意を呼びかけており、危険箇所への直接注意などを徹底していきたい。

4. 空き家対策について

問 空き家の除雪について、市の対応は。

答 空き家はあくまでも個人の財産であるため、市では降雪期前に落雪・倒壊を防ぐために屋根雪の除排雪などの適正管理を所有者にお願いしており、今後も継続していきたい。

全国市議会議長会

議員表彰

6月17日に行われた第91回全国市議会議長会定期総会において、全国市議会議長会評議員として会務運営の重責にあたられ使命達成に尽くされた功績により、田中友彦議員に感謝状が贈られました。



表彰状を伝達（平成27年9月4日）

請願書・陳情書の出し方

請願書・陳情書の書き方、留意事項は次のとおりです。

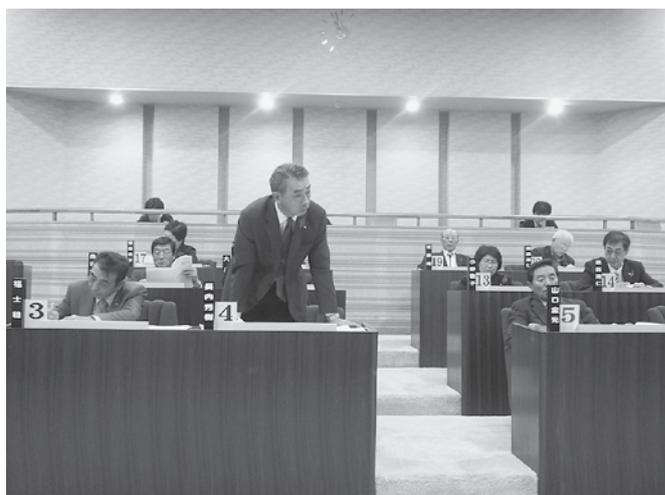
- ① 請願書（陳情書）はその要旨、理由を簡単に、分かりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、請願（陳情）者の住所、氏名（法人の場合は、その名称及び代表者氏名）を書いて必ず押印してください。
- ③ 請願の場合は、一人以上の紹介議員が必要になります。紹介する議員は、署名または記名押印をしてください。
- ④ 紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- ⑤ 道路等は簡単な地図・略図・図面等をつけてください。

【記入例】

平成	年	月	日
平川市議会議長（氏名） 殿			
請願（陳情）者	住 所		
	氏 名		(印)
	紹介議員 氏 名		(印)
〇〇〇に関する請願（陳情）書			
【請願(陳情)の要旨】			
【理 由】			

議員全員協議会開催

平成27年度第1回議員全員協議会が10月16日に開催されました。まち・ひと・しごと創生平川市総合戦略素案について執行機関より概要等の説明があった後、議員から活発な質疑等が行われました。



議会を傍聴してみませんか

定例会は3月、6月、9月、12月に行われます。

傍聴希望の方は本会議当日、本庁舎5階議会事務局前にお越しいただき、受付簿に住所・氏名・年齢を記入してから議場へお入りください。

**インターネットで議会の模様を
生中継しています!**

平川市ホームページにリンクを貼っております。
視聴方法や日程等も掲載しておりますので、ぜひご確認ください。

※録画はしていません。

詳しくは議会事務局まで 電話 (0172) 44-1111 (内線1511)

第 2 回 臨 時 会

平成 27 年第 2 回臨時会は 10 月 29 日に召集されました。

市長より議案第 129 号、第 130 号、報告第 13 号の 3 件が上程され、全議案とも起立採決の結果、原案どおり可決されました。

●工事請負契約の一部変更について

第 2 期平賀総合運動施設整備（1 工区）工事について、工事内容の変更による請負代金 7 億 4,520 万円を 7 億 5,525 万 4,800 円に変更するため。

質 疑

問 工事の設計変更の理由は。

答 それぞれの工事をしていくなかで、適切ではなかったことについて変更を行ったということである。

●工事請負契約の一部変更について

第 2 期平賀総合運動施設整備（2 工区）工事について、工事内容の変更による請負代金 3 億 5,424 万円を 3 億 5,649 万 7,200 円に変更するため。

●専決処分した事項の報告について

・専決第 11 号 損害賠償額の決定及び和解の件について

平川市碓ヶ関白沢地区の変形した市道ガードレールとの接触事故による損害賠償額を和解することについて専決処分する。

・専決第 12 号 損害賠償額の決定について

小和森小公園刈払作業中に小石が飛び、駐車車両のフロントガラスに損傷を与えた事故による損害賠償額を定めることについて専決処分する。



教育民生常任委員会

所管事務調査報告

●調査期日

平成27年10月26日（月）、30日（金）

●調査場所

平川市立小学校（柏木、碓ヶ関、大坊、松崎、
猿賀、金田、平賀東、竹館）
平川市立中学校（碓ヶ関、平賀西、尾上、平賀東）

●調査目的

- ① 学校長の学校経営方針について
- ② 学校施設状況について

●出席委員

齋藤 英仁 齋藤 律子 齋藤 政子
佐藤 保 長内 秀樹 工藤 秀一

●欠席委員

齋藤 律子（26日欠席）

●説明者

各学校校長等
教育委員会 小林事務局長 大湯学校教育課長

●委員長所感（要約）

《メンテナンスの重要性》

多くの小・中学校より設備の修繕要望が出ており、経年劣化のもののほか、メンテナンスを十分に行っていれば劣化を防げたものも多い。今後、点検等手間をかけずに早い段階で修繕・改修するのか、相当のメンテナンス費用を手当して事にあたるのか、行政の再検討が必要である。

《個人パソコンの業務使用》

備品のパソコンが古く、各教員が個人パソコンを持ち込んで業務を行っており、費用が個人負担なことやセキュリティ上の問題がある。特に情報漏洩やウイルス感染の対策はしにくく、早急な行政判断が求められる。

《教育及び児童福祉予算》

子どもの教育に係る行政予算は高齢者と比較すると貧弱であり、現状の少子化を招いてきた。平川市も同様に地勢的に商工業の中心となる路線はとりにくいが、周辺地域の住宅地としての選択があり、子育てしやすい環境を整備することに損はない。人口の自然増が望めない以上、社会増を強力に推進する施策が必要である。



猿賀小学校 校長室にて



柏木小学校 暖房機器故障の説明風景

* 議会の動き *

平成27年

9月

- 4日～18日 平成27年第3回定例会
- 6日 第37回青森縣護國神社永代神楽奉納祭に議長出席(弘前市)
- 13日 平成27年度弘前駐屯地自衛隊記念日行事に議長出席(弘前市)
- 17日 平成27年黒石地区交通安全大会に議長出席(大鰐町)
- 18日 第7回津軽みらい農業協同組合通常総代会に議長出席
- 20日 「祝」敬老お楽しみ会に議長出席
- 21日 平川市長寿福祉大会に議長ほか出席
- 27日 猿賀神社例祭に議長ほか出席
- 28日 (株)津軽バイオマスエナジー竣工火入式及び祝賀会に正副議長出席
- 30日 平成28年夏巡業「大相撲平川場所」実行委員会に議長出席

10月

- 16日 議員全員協議会
- 17日 平川市立平賀西中学校創立50周年記念式典並びに祝賀会に議長ほか出席
- 18日 「棟方志功展」開会セレモニーに議長出席
- 20日 平成28年夏巡業「大相撲平川場所」開催に係る契約調印式に議長出席
- 21日 第10回平川市学校音楽発表会に議長出席
- 25日 平川市健康づくり宣言市民大会に議長ほか出席
- 26日 教育民生常任委員会所管事務調査

- 29日 議会運営委員会
- ◇日 第2回臨時会
- 30日 教育民生常任委員会所管事務調査

- 11月 4日 東北市議会議長会理事会に議長、事務局長出席(仙台市)
- ◇日 知事を囲む懇談会に副議長、次長補佐出席(青森市)
- 10日 平成27年交通安全青森県民大会受賞祝賀会に議長出席
- 13日 議会改革に関する議員研修会
- 14日 第11回羽州街道交流会平川大会に議長ほか出席
- 15日 板柳町町制施行95周年・町村合併60周年記念式典に議長出席(板柳町)
- 16日 議会広報特別委員会
- 17日 平成27年度青森市議会議長会第2回定期総会に議長、事務局長出席(黒石市)
- 20日～21日 青森県市議会議員研修会(八戸市)
- 21日 青森県立柏木農業高等学校創立90周年記念式典並びに祝賀会に議長ほか出席
- 24日 第2回青森県後期高齢者医療広域連合議会定例会に議長出席(青森市)
- ◇日 平成27年度高規格道路建設及び道路整備促進青森県総決起大会に議長出席(青森市)
- 27日 議会運営委員会
- ◇日 議会広報特別委員会
- ◇日 平成27年度平川市明るい選挙推進協議会総会に議長出席

お知らせ ～平川市議会会派の動き～

- ◆ このたび会派の異動及び活政会に役員変更がありましたので、お知らせいたします。

平成27年9月24日に工藤竹雄議員が活政会から、10月7日に佐藤雄議員が誠心会から退会しました。

現在の会派の状況は右記のとおりです。

現在の会派別人数

会派名	人数
誠心会	8名
活政会	5名
新風の会	2名
一心会	2名
無会派	3名(うち政党所属1名)

◆ 編集室から ◆

先日の議員研修会において、早稲田大学マニフェスト研究所が調査する議会改革度ランキングで1,503議会中、「情報公開」の項目で当市議会は834位ということを知りました。議事録、ネット中継等「情報公開」は様々ありますが、この「議会だより」もその1つです。

恥ずかしながら私はある時まで「議会だより」を読んでいませんでした。一方で「広報ひらかわ」は欠かさず読んでいました。

いずれも市民にとって重要な情報が掲載されているにもかかわらず。その違いは何か。

先進市では紙面の構成をキャッチーにし、或いは毎月刊行しているようです。貴重な情報も読み手(市民)に届かなければ残念ですが無意味です。「議会だより」では市民の皆様が手に取って頂けるよう、委員・事務局全員で議論を重ねて参ります。

(工藤 貴弘)